

第十六章 行旅病人、行旅死亡人及精神病患者監護

大正十三年三月十日  
內社第二七七號內務部長通牒

地方費教育費豫算ハ大正十三年度分以降左記様式ニ依其ノ年度五月末日限  
要求相成度通牒候也

教育費	行旅病人死亡人諸費	精神病患者監護費	施療患者費
前年度決算見込額	前三年平均額	本年度所要見込額	備考

備考

- 一、金額ハ四拾五入シ圓位ニ止ムルコト
- 二、大正十一年度以前ハ恩賜濟生會救療費ヲ施療患者ト見做シ計算スルコト
- 三、本年度要求額カ前年度ニ比シ著シク増減アルトキハ其ノ理由ヲ備考ニ記載スルコト

朝鮮人タル行旅病人救護ニ關スル件

大正十三年六月十二日  
庶務第六二〇號廳報支廳長照會

現行行旅病人及行旅死亡人取扱法ハ内地ニ於ケル朝鮮人タル行旅病人及死亡人ノ取扱ニモ適用スルハ勿論ノ義ト被存候處現時朝鮮人ハ民法ノ效力之レニ及ハス之ニ代アルニ朝鮮民事令ト稱スル特別法令行ハレツ、アルヲ以テ該取扱法中ノ扶養義務者ト稱スヘキモノハ一ニ此朝鮮民事令ニ依ラサルヘカフサルモ該民令ハ原則トシテ民法商法民刑訴訟等内地ノ現行法ニ依ルヘキモ朝鮮ノ現況ニ鑑ミ遼カニ之等ノ内地法ニ依ルコトヲ得サルモノ又ハ之ニ依ルヲ以テ不便ト認メタルモノニ付テハ適當ナル除外例ヲ設ケ又ハ從來

〔北海社〕

第十七章 感化教育

感化法施行ノ件

明治四十一年十一月二十九日  
北海道廳告示第六百九十二號  
明治三十三年三月法律第三十七號感化法ハ本年十二月一日ヨリ北海道ニ施行ノ旨内務大臣ヨリ訓令アリ

北海道廳立感化院規則

大正十三年五月二十一日  
北海道廳令第八十號

北海道廳立感化院規則左ノ通定メ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一章 教育

- 第一條 生徒ノ教育ハ特ニ必身ノ發達ニ留意シ教育勸語ニ基キ普通教育ヲ施シ並生活ニ必要ナル技能ヲ授ケ
- 第二條 學科目及程度ハ尋常小學校高等小學校及補習科ニ準ス但シ院長ニ於テ特ニ必要アリト認ムルトキハ北海道廳長官ノ認可ヲ受ケ別ニ學科目及程度ヲ定ムルコトヲ得
- 第三條 實業科目ハ農業及手工ノ二トス
- 第四條 院長必要アリト認ムルトキハ北海道廳長官ノ認可ヲ受ケ公私ノ施設又ハ私人ニ委託シテ實業ヲ練習セシムルコトヲ得
- 第五條 學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル
- 第六條 學生ヲ分テテ三學期トス
- 第七條 第一學期 四月一日ヨリ八月三十一日ニ至ル

第十七章 感化教育

ノ例ニ依ルコトヲ規定シ民法中ニ於テハ能力親族及相續ニ關スル規定ハ之レヲ朝鮮人ニ適用セシメテ從來ノ慣習ニ依ルコト、セリ從テ朝鮮人ノ扶養義務ノ關係ハ民法相續編第八章ノ如クナラスシテ總テ慣習ニ依テ決スルハ明カナルモ朝鮮人タル行旅病人ヲ救護シタル市町村長ニ於テ其扶養義務ニ關スル慣習ヲ認定スヘキ形式ハ之レヲ如何ニスヘキヤ又朝鮮人ハ國稅徵收法ノ施行セラレサルヲ以テ費用ノ辨償金徵收ニ付テハ如何ニスヘキヤ差掛リタル事件有之候ニ付至急何分ノ御回示相煩度此段及照會候也

朝鮮人タル行旅病人救護ニ關スル件

大正十三年六月二十一日  
內社第七五二號內務部長照會

本月十二日庶務第六二〇號ヲ以テ首題ノ件ニ關シ御照會ニ相成候處扶養義務ニ關シテハ從來民法ノ規定ニ準シ取扱來リ候モ尙一應被救護者本籍地面長ニ付義務者取調相成救護費徵收ニ關シテハ明治四十年法律第三十四號ニ依リ御取扱相成度

扶養義務者ニ關スル疑義ノ件

大正十三年十一月二十一日  
旭川區長照會

行旅病人及行旅死亡人取扱法第六條ノ扶養義務者トハ民法第七百四十七條同第七百九十條及同第九百五十四條等ニ依リ扶養義務ヲ負フ者ノ謂ニシテ同第九百五十九條ニ依リ義務ノ存在スル場合ト否トハ問フ所ニアラス換言スレバ義務ノ存在スル「トキ」ト存セサル「トキ」トニ拘ラス義務者ト定メラレタル者ハ皆包含スルモノト解シ求償ノ手續ヲ履行スヘキヤ將タ右九百五十九條ニ依リ義務ノ存在セサル場合ニハ扶養義務者ニ該當セサルヲ疑義相生シ候ニ付急速御廳議御開示相成度此段及照會候也

(回答) 内地第七二四七號內務部長照會  
客月二十一日旭庶第八五三號ヲ以テ扶養義務者ニ關スル疑義ノ件ニ付照會ノ處右ノ前段ノ通りト存候此段及回答候也

〔北海社〕

第十七章 感化教育

感化法施行ノ件

明治四十一年十一月二十九日  
北海道廳告示第六百九十二號  
明治三十三年三月法律第三十七號感化法ハ本年十二月一日ヨリ北海道ニ施行ノ旨内務大臣ヨリ訓令アリ

北海道廳立感化院規則

大正十三年五月二十一日  
北海道廳令第八十號

北海道廳立感化院規則左ノ通定メ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二章 賞罰

- 第一條 院長生徒ノ學科及實科ノ成績並素行ヲ考査シ其ノ優秀ナル者ニ對シ賞票狀賞金及賞品ヲ授與スルコトヲ得
- 第二條 院長紀律ニ違反シ又ハ逃亡ノ虞アル生徒ニ對シテハ適當謹慎又ハ五日以内ノ獨居ヲ命スルコトヲ得
- 第三條 衛生及醫療
- 第四條 衛生及醫療
- 第五條 衛生及醫療
- 第六條 衛生及醫療
- 第七條 衛生及醫療
- 第八條 衛生及醫療
- 第九條 衛生及醫療
- 第十條 衛生及醫療
- 第十一條 衛生及醫療
- 第十二條 衛生及醫療
- 第十三條 衛生及醫療











年訓 月日	査	身修	國	術算	理地	史歷	科理	業農	畫圖	歌唱	操體	備	考
			讀方										

素行		院長	印	年	月	日	摘	要	視察者	印

賞罰		院長	印	年	月	日	摘	要	主任	印

(三) 生徒ノ出入ニ關スル往復要領其ノ他ノ記錄

〔北海社〕

院長	印	年	月	日	摘	要	主任	印

〔北海社〕

(第二號様式)

姓名	生年月日
	年 月 日

品	目	員	數	見積	價格	保	管	還	付	摘	要
						年	領	年	領		
						月	年	月	年		
						日	月	日	月		
						要	日	要	日		

●感化法施行細則

大正十三年三月二十九日  
北海道廳令第五十二號

明治四十一年十一月 北海道廳令第九十四號感化院法施行細則ヲ左ノ通改正シ

發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

感化法施行細則

第一條 保導委員又ハ警察官吏感化法第五條第一號ニ該當シ北海道廳立感化院ニ入院セシムヘキ者ヲ發見シタルトキハ市町村長警察署長又ハ關分

第十七章 感化教育







(第二號様式)

意見	審査	備考	出 願 者 事 情																	
			本籍	住所	氏名	生年	生月	生日	生計	世帯	生計	出願	退院後							

〔北海社〕

### 北海道廳立感化院處務規程

大正十三年三月十三日  
訓第二百六十七號

改正 昭和二年一〇月訓第八三〇號、一月訓八九一號

内務部 警務部 廳立感化院

北海道廳立感化院處務規程ヲ左ノ通定メ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

- 第一條 院長ハ職員ノ職務擔當ヲ定ムヘシ
- 第二條 職員ノ管内出張ハ院長之ヲ命スヘシ但シ院長ノ出張及職員ノ管外出張ハ此ノ限ニ在ラス
- 第三條 院長ハ職員ノ歸省、看護、墓參又ハ轉地療養ヲ許可シ及其ノ除服ヲ命スヘシ
- 第四條 院長ハ職員以下ノ進退ハ之ヲ專行スヘシ
- 第五條 院長ハ物品ノ購入修繕及不用品ノ處分並見積價格一口百圓以下ノ家屋ノ修繕ハ之ヲ專行スヘシ
- 第六條 院長事故アルトキハ輕微ノ事項ニ限リ上席教諭之ヲ代理ス
- 第七條 院長ハ特ニ規定セルモノヲ除クノ外左記事項ニ付テハ之ヲ北海道廳長官ニ報告スヘシ
  - 一 即日報告スヘキモノ
  - 一、職員ノ職務擔任ニ關スル事項
  - 二、職員ノ進退ニ關スル事項
  - 三、生徒ノ入院、退院、復院及委託ニ關スル事項
- 二 學年末ニ報告スヘキモノ
  - 一、前學年中ニ於ケル生徒ノ異動ニ關スル事項
  - 二、前學年中ニ於ケル生徒ノ學科及實科ノ成績ニ關スル事項

〔北海社〕

- 三、前學年中ニ於ケル生徒ノ診察及衛生ニ關スル事項
  - 四、前學年中ニ於ケル豫算經理ニ關スル事項
- 第八條 處務順序、文書ノ編纂保存、服務心得、當直心得、非常心得及公文例ニ付テハ〔大正十一年九月訓第八百三十五號北海道廳處務細則〕ヲ準用ス

#### 附則

明治四十一年十二月訓第四十三號北海道廳立札幌學院處務細則及大正三年七月訓第六百七號北海道廳立札幌學院長委任條項ハ之ヲ廢止ス

#### 感化法施行細則ニ關スル件

大正十三年三月二十九日  
内社第三六八號内務部長警察部長通牒

警察局長 警察分署長宛

本月二十九日廳令第五十二號ヲ以テ感化法施行細則發布相成候處之カ運用ノ如何ハ感化教育上至大ノ關係アルヲ以テ入院者ノ取扱ニ關シテハ左記事項ヲ遵守シ苟モ入院者ヲシテ不快畏怖ノ念ヲ抱カシムルコトナキ様特ニ御注意相成度

#### 記

- 一 入院者ノ送致若ハ留置ノ場合ニ於テ逃走暴行又ハ自殺ノ虞アル等止ムヲ得サル場合ノ外戒具ヲ施スコトヲ得ス
- 二 入院者ヲ留置スルニ當リ止ムヲ得サル場合ノ外他ノ囚人若ハ刑事被告人ト居室又ハ坐席ヲ同クセシムヘカラス
- 三 入院者ヲ感化院ニ送致スルトキハ同行巡查ハ私服ヲ用キ犯罪人ト同一ノ取扱ヲ爲スヘカラス

大正十三年三月二十九日  
内社第三六八號内務部長通牒



本月二十九日廳令第五十二號ヲ以テ感化法施行細則發布相成候處感化院生徒ノ入退院ニ關スル取扱ハ從來專ラ警察署長ヲシテ處理セシメタルモ入院者ノ如何ニ依リテハ市町村長等ヲシテ關與セシムル方適當ト認ムル者尠ナカラサルヲ以テ爾今市町村長並保護委員ヲモ關與セシムル事ト相成候次第ニ付右取扱上遺憾ナキ様御注意相成度

### ●札幌學院生徒實習農產物處分ニ關スル件

大正十三年四月二十一日  
內社第四六八號內務部長通牒  
札幌學院事務取扱  
四月十六日付學院第五二五號何出ノ生徒實習農產物處分ニ關スル件ハ貴見通リ取扱相成支障之無尙收穫終了ノ際ハ其ノ成績報告相成度  
學院第五二五號  
大正十三年四月十六日

北海道廳立札幌學院長事務取扱 龜山 慎次  
生徒實習農產物處分ニ關スル件何

從來本學院農產物ハ收穫後相當價格ニ見賣拂處分致居候處本年度ヨリ農業趣味並經濟思想養成ノ目的ヲ以テ生徒ニ對シ各自一定ノ地積ヲ分與(小學校ニ於ケル一坪農業式農業學校ニ於ケル試作畑式)シ適宜之ニ作物ヲ配シ播種ヨリ收穫ニ至ル迄教諭指導ノ下ニ耕作管理セシメ興味ヲ以テ農業ヲ獎勵致度方針ニ有之候ニ就テハ一坪農業式生産物ハ勿論其ノ他ノ實習農產物ハ總テ之ヲ生徒ノ蔬菜トシテ消費致度候條右趣旨ニ基キ農產物全部本職ニ於テ適宜處分相成差支無之哉仰御高裁候也

〔北海社〕

### ●感化法施行細則ニ就キ注意ノ件

大正十三年五月六日  
內社第三六八號內務部長通牒  
各支廳長 各市長  
感化法施行細則取扱ニ關シテハ曩ニ注意致シ置キ候處白痴又ハ病弱者ヲ入院上申ノ向モアリ右ハ感化教育ノ眞意ヲ誤ルモノニシテ甚ダ遺憾ノ次第ニ有之候由來入院手續ニ關シテハ別ニ當廳ニ於テ直接取調フルコトナク專ラ市町村長ノ調書ニ依リ處理可致モノニ付之レカ上申又ハ副申ニ當リテハ感化法第五條ニ該當スルヤ否ヤニ付充分考慮相成候度

### ●感化院入院者ノ件

明治四十一年一月十九日  
四保秘第二八七號第四部長通牒  
各支廳本分署長

改正刑法施行後十四歳未滿ノ犯罪者取扱方ニ關シ別紙寫ノ通內務省地方警保兩局長ヨリ通牒有之候處感化院ノ設置ニ付テハ目下夫々手續中ニ有之候ニ付檢事ヨリ感化院ニ入院セシムル必要アリトシテ通知ヲ受ケタルトキハ一旦其身柄ヲ引取リタル上便宜ノ方法ニ依リ相當監視シ非行ヲ敢テセシメサル様充分取締可相成依命此段及通牒候也

改正刑法施行後ニ於ケル十四歳未滿ノ犯罪者取扱ニ關シ別紙ノ通り檢事ヘ訓令可相成見込ニ候處右ニ付左記事項其筋ヘ內調相成候様御配慮有之度此段及照會候也  
明治四十一年五月六日  
司法省民刑局長法學博士 平沼駁一郎

### ●感化生護送費ノ件

明治四十一年十二月二日  
四警第五四〇一號第四部長通牒  
各警察 感化院長  
感化院法實施相成候處感化生護送諸費中巡査旅費ハ警察費俸給及諸給費各署仕拂豫算内ヨリ支出シ院生ニ要スル費用ハ本廳ニ於テ支出可致候條請求書又ハ證明書ハ所屬署長又ハ感化院主事ニ於テ調査ノ上認印ヲナシ當部ヘ廻送候義ト御了知相成度此段及通牒候也

### ●感化法施行細則ニ就キ注意ノ件

今般刑法改正トナリタルニ付十四歳未滿ノ犯罪者ハ刑法施行後ハ懲治處分ニ付セスシテ感化院ニ入院セシムルコト、ナリタルヲ以テ其入院ニ關シテハ左ノ如ク取扱フ可シ  
一、檢事公訴提起前被告人ノ年齡十四歳ニ滿タサルコトヲ認メタルトキハ感化院ニ入院セシム可キヤ否ヤヲ審査シ若シ入院セシム可キ者ナルトキハ其理由ヲ所轄警察官署ニ通知スヘシ  
一、裁判所ニ於テ被告人十四歳ニ滿タザルカ爲メ無罪又ハ免訴ノ旨渡テ爲シタルトキハ前項ノ例ニ依リ檢事其手續ヲ爲ス可シ  
右訓令ス

### ●感化法施行細則ニ就キ注意ノ件

大正十三年五月十日  
內社第三六八號內務部長通牒  
各市長 各支廳長  
感化法施行細則取扱ニ關シテハ曩キニ注意致シ置キ候處白痴又ハ病弱者ヲ入院上申ノ向モアリ右ハ感化教育ノ眞意ヲ誤ルモノニシテ甚ダ遺憾ノ次第ニ有之候由來入院手續ニ關シテハ別ニ當廳ニ於テ直接取調フルコトナク專ラ市町村長ノ調書ニ依リ處理可致モノニ付之レカ上申又ハ副申ニ當リテハ感化法第五條ニ該當スルヤ否ヤニ付充分考慮相成候度

### ●感化院物品購入ニ關スル件

大正十三年五月二十九日  
內社第六七四號內務部長通牒  
廳立札幌學院長事務取扱  
院生賄用トシテ購入ノ米麥ハ石、味噌ハ貫、醬油ハ升ヲ單位トシテ正味ヲ購入シ空俵空樽等ハ納入者ニ返戻スル様御取扱相成度

### ●不良少年所遇方ノ件

明治四十一年十二月十二日  
四保第八五一四號第四部長通牒  
各警察本分署長  
感化法施行ノ件ハ既ニ公布セラレ感化院ニ入院セシム可キ不良少年ノ調査ハ主トシテ警察官署之ニ當ルヘキ儀ニ有之候處抑モ感化ノ事業タル單ニ懲治ノ感念ヲ以テ之レニ臨ムヘキニ非スシテ專ラ其惡性ヲ擧メ遷善悔悟以テ本然ノ至善ヲ啓發スルニアリ故ニ其所遇ニ就テハ努メテ言動ヲ慎ミ常ニ温情ヲ以テ之レヲ迎ヘ苟クモ犯罪人ヲ以テ目スルカ如キハ避ケサルハカラス又其入院具申ニ關シテハ短時日ヲ以テ規定ノ調査事項ヲ具備シ能ハサル事情モ可有之ニ付不良行爲アルカ年ニ對シテハ常習犯人視察規定ニヨリ取扱



フ可キハ勿論具申事項ノ如キハ豫メ調査ヲ遂テ置キ隨機ノ處置ニ差支ナカ  
ラシムル等遺憾無之様措置可有之此段及通牒候也

●感化院職員ニ關スル件

大正十四年六月十六日  
内社第七五八號内務部長通牒

大沼感化院  
財団法人家庭學校社名淵分校長宛

社會局第二部長ヨリ事務上必要ノ趣キヲ以テ申越有之候ニ付現在職員履歷  
書別紙様式ニヨリ調製ノ上二部宛至急送付相成度  
追テ爾今職員異動死亡任免轉職ノ際ハ其都度通報相成度  
履歷書  
本籍  
現住所  
位勳氏  
年月日  
年月日

●北海道廳立感化院在院者費用負  
擔額

大正十三年五月三十日  
北海道廳告示第三百七十六號

大正十三年五月北海道廳令第八十號北海道廳立感化院規則第二十二條ニ規定  
スル生徒ノ在院費ハ一人ニ付一箇月金十五圓ノ割合トシ月ニ滿タサルトキ  
ハ日割ヲ以テ計算ス

●財團法人家庭學校社名淵分校ヲ  
北海道廳感化院ニ代用ノ件

〔北海道〕

大正十二年三月二十六日  
北海道廳告示第八十三號  
北見國紋別郡遠輕村字社名淵原野五百六十番地財團法人家庭學校社名淵分  
校ヲ北海道廳感化院ニ代用シ大正十二年四月一日ヨリ開始ス

●代用感化院指定ノ件

大正十二年三月二十六日  
内社第五〇號長官指定

財團法人家庭學校社名淵分校  
財團法人家庭學校社名淵分校

其校ヲ北海道廳感化院ニ代用シ大正十二年四月一日ヨリ開始ス  
但シ左記條件心得ヘシ  
大正十二年三月二十六日

長官

- 一、毎年度交付スヘキ補助金額及入院ヲ命スヘキ院生ノ最高人員ハ前年末ニ於テ之レヲ定メ通知スルモノトス
- 二、補助金ハ六月及十二月ノ二期ニ於テ其半額ツ、チ交付ス
- 三、入院ヲ命シタル院生ニ對シテハ之レカ收容ヲ拒ムコトヲ得ス
- 四、毎年度收支豫算ハ二月末日迄ニ同決算ハ翌年五月末日迄ニ豫算ノ追加更正ヲ爲シタルトキハ其ノ都度之レヲ長官ニ報告スヘシ
- 五、事業上重要ナル施設及規定ノ改廢並ニ職員ノ任免ハ其ノ都度之ヲ長官ニ報告スヘシ
- 六、長官ハ隨時官吏ヲ派遣シ事業施行及會計ノ狀況ヲ検査セシメ又ハ院生教養並ニ處遇方法其ノ他事務上ニ關シテハ指示シ若ハ改善ヲ命スルコトアルヘシ
- 七、感化院ニ關スル規定及本廳ノ定メタル條件ニ違背シタルトキ又ハ本廳ノ都合ニヨリ何時ニテモ代用ヲ廢止スルコトアルヘシ
- 八、本條件ハ長官ニ於テ必要ト認ムルトキハ之ヲ變更スルコトアルヘシ

第十八章 社會事業資金

●北海道特別會計

明治三十四年九月二十八日  
北海道廳令第五百五十五號

改正 明治三十四年二月北海道廳令第一七二號  
北海道特別會計左ノ通り相定ム

- 第一條 小學校教員恩給基金、小學校教員恩給金、小學校教員資金、小學校教員加俸資金、慈善救濟資金ハ特別會計トス
- 第二條 前條ノ種目ハ各別ニ整理スヘキモノトス
- 第三條 小學校教員恩給基金ニ對シテハ別ニ豫算ノ合達ヲナササルモノトス

●特別會計基金取扱手續

明治三十八年六月五日  
訓第五百五十號

特別會計基金取扱手續左ノ通定ム

- 第一條 特別會計ニ屬スル北海道罹災救助基金及北海道教育基金ハ一旦且其ノ歳入ニ受入レ更ニ歳入科目ヲ以テ金庫ヨリ現金ヲ引出シ銀行ニ預ケ入レ利殖ヲ計ルモノトス其ノ預ケ入ルヘキ銀行ハ第一部長之ヲ指定スヘシ但シ罹災救助基金ニ在テハ管理補充及支出方法第三條第四號ノ制限額外ノ現金ハ大藏省預金局ヘ預ケ入ルヘキモノトス
- 第二條 前條ニ據リ金庫ヨリ現金ヲ引出ス場合ハ基金管理者ヨリ仕拂命令

第十八章 社會事業資金

〔北海道〕

- 者ニ請求スヘシ  
仕拂命令者前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ基金取扱主任ニ對シ仕拂命令ヲ交付スヘシ
- 第三條 基金ノ支出ヲ要スルトキハ預金ノ内ヨリ所要額ノ拂戻ヲ受ケ之ヲ金庫ニ拂込ムヘシ
- 第四條 前條ニ據リ現金ヲ金庫ニ拂込ム場合ニハ基金管理者ヨリ徵收命令者ニ請求スヘシ  
徵收命令者前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ基金取扱主任ニ對シ納入告知書ヲ發スヘシ
- 第五條 基金取扱ノ爲メ第一部ニ基金取扱主任一名ヲ置ク
- 第六條 基金取扱主任ハ第一部長之ヲ指定シ其ノ官職氏名ヲ長官ニ報告スヘシ
- 第七條 基金取扱主任ハ基金管理者ノ指揮ヲ受ケ其名ヲ以テ現金ノ出納ヲ行フヘシ
- 第八條 基金取扱主任ハ自己ノ取扱ヒタル現金ニ對シ其ノ責ニ任ズ
- 第九條 基金取扱主任ハ現金出納簿ヲ備ヘ常ニ現金ノ出納ヲ明カナラシムヘシ  
前項ノ出納ハ毎月一回定期ニ毎年一回以上臨時ニ検査ヲ行フヘシ  
検査ハ第一部長若クハ其ノ代理者之ヲ行フヘシ
- 第十條 基金管理者又ハ基金取扱主任交代シタルトキハ前任者ニ於テ引繼クヘキ帳簿其他證書類ノ目錄ニ通テ作リ年月日ヲ記入シ前任者後任者署名捺印ノ上基金管理者ハ長官ニ基金取扱主任ハ第一部長ニ届出ツヘシ
- 第十一條 各部課ニ於テ基金ノ支出ヲ要スルトキハ第一部長地方課ニ請求スヘシ  
地方課ニ於テ前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ第四條第一項ノ手續ヲ了シタ



ル上支出方ヲ出納課ニ請求スヘシ

### ●大禮恩賜賑恤資金管理規則

大正五年一月一日  
北海道廳令第一號

改正 大正六年三月北海道廳令第二三號  
大禮恩賜賑恤資金管理規則左ノ通定ム

- 第一條 大禮恩賜賑恤資金ハ御下賜金並地方費繰入金ヲ元資トシ積立チ爲スモノトス
- 第二條 資金ヨリ生スル收入ハ賑恤ノ資ニ充ツルノ外資金ニ編入スルモノトス
- 第三條 資金ハ國債其ノ他確實ナル有價證券ヲ購入シ又ハ確實ナル銀行ニ預入シ利殖チ計ルモノトス

### ●恩賜慈惠資金管理規則

大正四年八月五日  
北海道廳令第七十九號

恩賜慈惠資金管理規則左ノ通定ム

- 第一條 恩賜慈惠資金ハ御下賜金並地方費繰入金ヲ元資トシ積立チ爲スモノトス
- 第二條 資金ヨリ生スル收入ハ慈惠救濟ノ資ニ充ツルノ外資金ニ編入スルモノトス
- 第三條 資金ハ國債其ノ他ノ確實ナル有價證券ヲ購入シ又ハ確實ナル銀行ニ預入シ利殖チ計ルモノトス

〔北海社〕

附則

明治三十四年九月北海道廳令第四百七十七號慈惠救濟資金管理規則並明治四十五年二月北海道廳令第十一號慈善事業資金管理規則ハ之ヲ廢止ス  
慈惠救濟資金、慈善事業資金及大正慈惠救濟資金ハ本令施行ノ際恩賜慈惠資金ニ編入ス

### ●慈惠救濟資金補助内規

明治四十三年十月五日  
訓第九百七十四號

改正 大正四年二月訓第二二六號

明治三十六年九月慈惠救濟資金補助内規左ノ通改正ス

- 第一條 慈惠救濟資金補助内規  
慈惠救濟チ目的トスル事業ニハ本規定ニ依リ資金ヨリ生スル收益ヲ以テ補助チ爲スコトヲ得
- 第二條 補助チ爲スヘキ事業ノ概目左ノ如シ  
一 鰥寡孤獨貧兒教育ニ關スル事業  
二 貧窮患者施療ニ關スル事業  
三 感化及特殊教育ニ關スル事業  
四 免囚保護其ノ他慈惠救濟ニ關スル事業
- 第三條 前條ノ補助ハ事業開始後一箇年以上ヲ繼續シ現在收容人員十名以上ニシテ成績良好ト認ムルモノニ限ル
- 前項ノ人員五名以上ニシテ特別ノ事由アルモノニ對シテハ補助チ爲スコトヲ得
- 前二項ノ補助チ爲ストキハ事業ニ關シ條件ヲ付スルコトヲ得
- 第四條 補助金ノ額ハ左ノ區別ニ依ル

〔北海社〕

- 一 經常費ノ補助ハ其ノ救護人員一人ニ付年額十圓以内
  - 二 直接事業ニ用フル建物新築ニ對スル補助ハ其ノ工費ノ三分ノ一以内
- 第五條 補助チ申請スル者アルトキハ左ノ事項ヲ調査スルモノトス
- 一 名稱及事業ノ種類
  - 二 救護人員(延人員及現在人員)
  - 三 事業經營ノ狀況
  - 四 事業ノ成績
  - 五 維持方法
  - 六 收支豫算書
  - 七 資産現在額
  - 八 區町村其ノ他助成ノ有無
  - 九 建物建築ニ對シテハ工費及設計ノ大要並ニ圖面
- 第六條 補助金ハ經常費ニ對スルモノハ年末建物ニ對スルモノハ工事竣工ノ後交付スルモノトス
- 第七條 補助チ交付シタルモノニ對シテハ第五條一項一號乃至五號ノ事項ヲ具シ毎年四月二十日迄ニ前年ノ成績ヲ報告セシムルモノトス



第十九章 諸報告

●社會的施設ニ關スル報告ノ件

大正十年七月六日  
內社第三一四號內務部長通牒

各支廳長 各區長宛

貴管下ニ於テ左記各項ニ該當スルモノアルトキハ其都度報告相成度尙既ニ  
實行中ノモノニシテ報告未済ノモノハ七月二十日迄ニ無漏報告相成度此段  
及通牒候也

- 一、支廳市區ノ事業トシテ社會的施設(別紙分類參考)ヲ爲シタルトキハ其  
ノ施設ノ概要(經費創立年月日職員數所在地名稱事業目的經營主體敷地  
建物坪數經營方法ノ一般等)但シ町村及公益法人其ノ他ノ團體又ハ私人  
ニ於テ著シキ社會的施設ヲ爲シタルトキ亦同シ
- 二、社會事業ニ關スル各種團體(法規ニ依リ設立)ヲ組織スルモノアルトキ

- ハ其事務所々在地代表者氏名會員數目的事業資産規約等
- 三、其ノ他支廳市區等ニ於テ社會事業獎勵事項ヲ定メタルトキハ其ノ方法  
ノ概要
- 四、前各項ノ外社會事業ニ關スル重要ナル事項
- 五、支廳市區ニ於テ社會事業獎勵ノ爲メ團體等ニ對シ獎勵金又ハ助成金ヲ  
交付シタルトキハ其團體ノ名品表彰狀寫及成績ノ概要

別紙分類添付(前ニ同シ)

●社會的施設事業報告ノ件

大正十一年五月十五日  
內社第二七〇號內務部長通牒

各支廳長 各區長宛

大正八年十月從來報告相成候標記ノ事項今回報告様式別表ノ如ク改正相成  
候條爾今右ニ依リ御報告相成度  
追テ本文ノ件ハ大正十一年上半期分ヨリ御報告有之度

第一表

公設市場調査表

市場名	經營者	賣		上		計	開場日數	賣上高	備考
		一(七)月	二(八)月	三(九)月	四(十)月				
							一ヶ月平均	一ヶ月平均	
							開場日數	賣上高	
計									

大正 年上(下)半期至 月分

注意

- 一、本表ハ公益ヲ目的トシテ設置シタル日常生活必需品ノ小賣市場ニ付調査スルモノトス
- 二、金額ハ圓位ニ止メ以下四捨五入ノ計算ニヨル
- 三、本表報告期限上半期自一月分ハ七月五日迄下半年期自七月分ハ翌年一月五日迄トス

〔北海社〕

〔北海社〕

第二表

公設浴場調査表

浴場名	經營者	入		浴		計	開場日數	入浴人員	入浴料	備考
		一(七)月	二(八)月	三(九)月	四(十)月					
							一ヶ月平均	一ヶ月平均		
							開場日數	入浴人員		
計										

大正 年上(下)半期至 月分

注意

- 一、浴場附屬事業トシテ散髪結髮等ニ關スル設備アルトキハ本表ニ準シ備考欄又ハ餘白ニ記載スルコト
- 二、報告期限ハ第二表ニ同シ

第三表

簡易食堂調査表

食堂名	經營者	入		堂		計	開場日數	入人員	備考
		一(七)月	二(八)月	三(九)月	四(十)月				
							一ヶ月平均	一ヶ月平均	
							開場日數	入人員	
計									

大正 年上(下)半期至 月分

注意

- 一、朝、晝、夕食ノ區別ナキモノハ便宜訂正ノ上一人一食ノ料金を記入シ其旨備考欄ニ記入スルコト
- 二、報告期限ハ第一表ニ同シ

第四表

共同宿泊所調査表

宿泊所名	宿泊	泊		延		計	一ヶ月平均	宿泊人員	宿泊料	備考
		一(七)月	二(八)月	三(九)月	四(十)月					
							一ヶ月平均	宿泊人員		
							宿泊人員			
計										

大正 年上(下)半期至 月分



注意

- 一、無料貸費低廉宿泊所ニ付調査スルコト
- 二、宿泊所附屬事業トシテ理髮浴場其他ノ施設アルトキハ本表項目ニ準シテ備考欄又ハ餘白ニ記入スルコト
- 三、報告期限ハ第一表ニ同シ

第五表

日用品購買組合等調査表		組合員數		生賣計用却品產業用品		大正年度	
產業組合法ニ依ルモノ	組合數	組合員數	生賣計	用却品	產業用品	賣却	平均
計							高

注意

- 一、本表ハ日用品生活必需品ニ關スル購買組合等ニ付調査スルモノトス
- 二、年度ハ曆年ニ依ル(大正十二年二月二日以内)
- 三、金額ハ圓位ニ止メ以下四捨五入ノ計算トス
- 四、本表ハ毎年一月十五日限リ報告スルモノトス

第六表

小住宅經營調査表		建築費		經營者		備考	
位置	敷地坪數	戶數及坪數	總建坪一坪當總額	建築年月	經營者	備考	備考
供給細則							

〔北海社〕

〔北海社〕

種別	戶數	當一ヶ月		金備	考
		室數	貨貨料		
甲					
乙					
丙					
計					

注意

- 一、本表ハ公共團體公益團體等ニ於テ小住宅ヲ供給貸與セルモノ(官公署學校職員従業員若クハ會社工場等ニ於ケル従業員ニ對シ供給貸與セルモノヲ除ク)
- 二、經費ノ欄ニハ一年ノ管理ヲ掲記スルコト
- 三、經營方法ノ欄ニハ貸借者ノ資格貸貨條件其他經營ニ關スル事項ヲ記載スルコト
- 四、本表ハ小住宅建築竣工ノ都度報告スベキモノトス

●社會的施設事項記入方ノ件

大正十四年六月二十五日  
內社第七八五號內務部長通牒

各市長宛(除釧路市)

左記施設ニ關スル別紙及送付候條六月末日現在ニ依リ相當欄詳細記入ノ上  
御回送相成度  
尙爾後當該施設ノ新設又ハ變更アリタル場合ハ別紙記入事項ヲ又廢止ノ  
場合ハ其都度御報告相成度

第十九章 諸報告

- 一、公設市場 各市(除釧路)
- 一、簡易食堂 室蘭市
- 一、共同宿泊所 函館市

●社會事業調查表其ノ他社會的施設事業狀況報告ニ關スル件

昭和三年一月二十四日  
學社第一三五〇號學務部長通牒

三一五



各支廳長宛

客年十二月二十八日北海道廳訓令第八十三號ヲ以テ改正セラレタル支廳事務報告例中社會事業調查表濟貧恤救表養育ニ係ル棄兒表行旅病人表行旅死亡人表ハ昭和三年度分ヨリ御報告相成度從テ昭和二年分ハ從來ノ通り報告ヲ要スル義ニ有之尙大正十一年五月十五日內社第二七〇號通牒ニ依リ報告相成居候社會的施設事業報告ハ今回改正セラレタル支廳事務報告例中ノ社會事業調查表トシテ報告セラルコト、相成候ニ付前記通牒ハ昭和二年下半年期ノ報告ヲ最後トシ爾後消滅シタル義ト御了知相成度

昭和三年一月二十四日  
學務部長通牒

各市長宛

濟貧恤救施行表養育ニ係ル棄兒表救濟事業調查表行旅病人表ハ昭和三年度分ヨリ客臘二十八日北海道廳訓令第八十三號ヲ以テ改正セラレタル支廳事務報告例中ノ濟貧恤救表養育ニ係ル棄兒表社會事業調查表行旅病人表行旅死亡人表ニ準シ御報告相成度但シ昭和二年分迄ハ從來ノ通り報告ヲ要スル義ニ有之尙社會的施設事業報告ハ昭和三年度分ヨリ今回改正セラレタル支廳事務報告例中ノ社會事業調查表ニ準シ御報告相成度

昭和三年一月二十四日  
學務部長通牒

各市長宛

濟貧恤救施行表養育ニ係ル棄兒表救濟事業調查表行旅病人表ハ昭和三年度分ヨリ客臘二十八日北海道廳訓令第八十三號ヲ以テ改正セラレタル支廳事務報告例中ノ濟貧恤救表養育ニ係ル棄兒表社會事業調查表行旅病人表ニ準シ御報告相成度但シ昭和二年分迄ハ從來ノ通り報告ヲ要スル義ニ有之尙社會的施設事業報告ハ昭和三年度分ヨリ今回改正セラレタル支廳事務報告例中ノ社會事業調查表ニ準シ御報告相成度

〔北海社〕

第二十章 雜

●社會事業調查資料送付ノ件

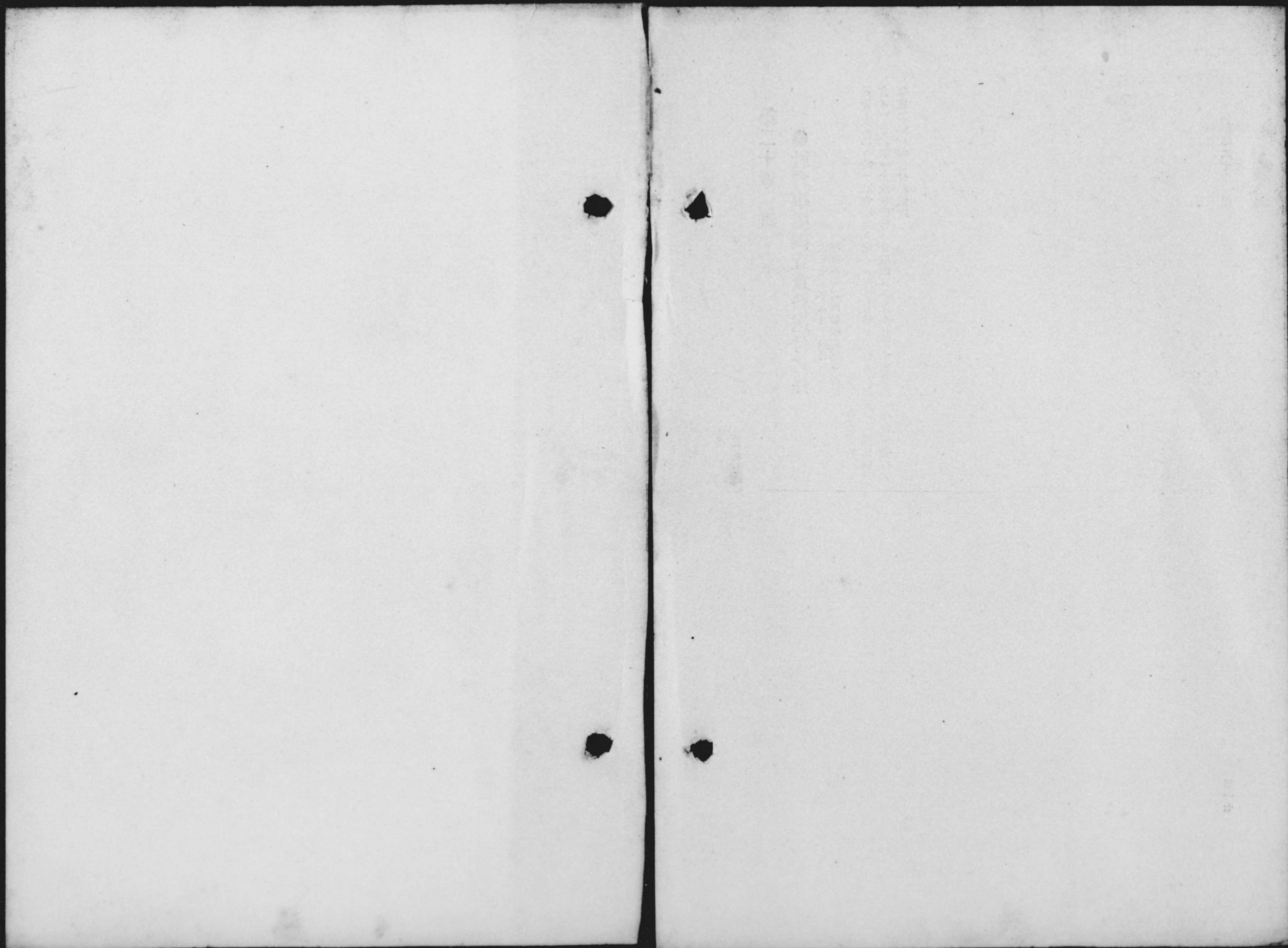
〔北海社〕

大正十五年八月十四日  
學社第一二四號學務部長通牒

各市長 各支廳長宛

貴管下(市)ニ於テ社會事業ニ關スル年報月報其ノ他各種調査等(雜誌類ヲ含ム)有之候ハ、最近發行ノ分取纏メノ上本月二十五日迄ニ今後ハ發行ノ都度二部宛御送付相成度







昭和三年八月二十五日印刷  
昭和三年八月二十九日發行



北海道廳學務部社會課編纂

發行者 株式會社 帝國地方行政學會  
代表者 大谷仁兵衛

印刷者 井田耕治

印刷所 行政學會印刷所

發行所

東京市京橋區加賀町九番地  
振替口座東京一三番

帝國地方行政學會



